

九月例会 御案内

〔令和元年・通算第六九九回〕

公益財団法人 協和協会

○ 御案内

九月二十六日(木)十一時半入館可、正午～午後二時半 衆議院第一議員会館地下一階第五会議室

講師 橋田俊彦先生(気象庁前長官、気象庁元予報部長)

当協会には内部に環境技術委員会もあり、協会全体としても環境問題は大きな研究テーマです。近年特に、六月から猛暑が続いたり、梅雨時にしとしと雨ではなくスコールのような大雨になったり、連続集中豪雨でこれまでに災害がなかった河川が氾濫し洪水で家屋が浸水したり、私ども国民には、この気候変動・異常気象は何が原因なのか、外国の大統領がいうように地球活動の一環なのか、それとも人類の活動結果なのか、どういう原因なのか分らないと、対策も立てられません。そうした、判断に迷っている折なので、今回は、永年気象行政に携わってこられました気象庁前長官の橋田俊彦先生に御解説をいただきます。奮っての御参加、お待ち申し上げます。(清原記)

□ 当日会費(昼食代含む) 会員は三千円、外部からの参加者は五千円

公益財団法人 協和協会 <http://www.kyowakyokai.or.jp>

九月二十六日(木)の月例会云に

電話 03-3581-1192

FAX 03-3507-8587

出席 欠席 (いずれかに○印を)

御芳名

当日連絡先 080-8836-6203 重田

080-9292-2620 高津

(メール不可・通話のみ)

貴方様の FAX
メール

九月二十四日(火)までに欠の御連絡賜りたく。

○ 御報告

去る六月二十八日～同二十九日にかけて主要二十カ国・地域の首脳会議「G20」が日本で初めて大阪にて開催された。その主要議題は、(1)世界経済、(2)巨大IT企業対策、(3)海洋プラスチック対策、(4)WTO改革問題の四つであった。そのうちの多くは、新聞・テレビでかなり詳しく報道されたが、当財団内の環境技術委員会などが強く関心を持ち研究している海洋プラスチック対策については特に、「G20」の数日前の六月十五日～十六日に長野県軽井沢にて「エネルギー・環境閣僚会議」が開かれていることでもあり、その内容も知りたいと思いい、七月三十日(火)の正午より衆議院第二議員会館地下一階第三会議室に、環境大臣・原田義昭先生にお越しいただき、「環境政策の諸課題について」と題し、御講話をいただいた。

原田義昭環境大臣のお話の要旨は、海洋プラスチックゴミ対策は、二〇一七年、ドイツで開催されたG20で始めて取り上げられたが、今年主催国日本から、このプラスチックゴミを計画的・継続的に減少させるために、毎年、参加国の担当者が一堂に会し、自国の廃プラスチックゴミ、海岸へ漂着するプラスチックゴミの処理状況を発表することにつき合意を見た、との報告があった。その他の大臣の報告としては、CO2の削減については、カーボンプライシング、即ち、企業や家庭が排出する炭酸ガスについて、そのCO2の量に価格を付け、その排出量に応じて課税する方式も一部先進国が採用している、わが国も検討している、とのことであった。

なお、私が通産省に入省した当時は、環境対策をすることは企業の活動を阻害するものと考えられていたが、環境省がいま取り組んでいるのは、産業と環境が対立するものではなく、産業と環境とが互いに共生する「地域循環共生圏」を作ることこそ、社会の発展、地方の再生に繋がるといふ考えに立って政策を進めている。等々の御解説があり、国政に戻るため、退席された。

(清原記)

▽「公益財団法人 協和協会」とは

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を研究調査し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出することにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会の他に八つの部会と、五〇六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府に提出している。

第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は櫻内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・安全保障委員長、元外務副大臣が就任している。

▽事務局電話(03)3581-1192 代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津